

# ウオーターフロント開発の

## 近世・近代

〜都市大阪の沿岸部を中心に〜

### 島田 克彦

桃山学院大学  
経済学部  
教授



受講料:無料

近世・近代の都市大阪において、沿岸部は開発の最前線でした。近世の大阪湾岸は、漁村を生産の拠点とする人びとの生活空間でしたが、やがて資本投下による新田開発が行われ、農業生産による富の蓄積を追求する空間となりました。近代に入ると、大阪築港の開発や、工場の立地がはじまります。現在からおよそ100年前の第一次世界大戦後には阪神工業地帯の原型が形成され、20世紀後半に至るまで重工業地帯としての機能を果たしてきました。しかし沿岸部はしばしば災害に襲われ、開発や土地利用は容易ではありませんでした。

この講座では、このような都市大阪沿岸部の変容の歴史を、土地所有のあり方に注目して学びます。

#### 受講方法

①会場参加 先着50名/事前登録受付順  
桃山学院大学 和泉キャンパス  
2号館 301教室  
(詳細は後日、登録アドレスにメールにて送付)

②オンライン受講  
Zoomウェビナーによるライブ視聴

#### 開催日

2023年11月29日(水)  
15:30～17:00

#### 申込方法

右記QRコードから  
の事前登録制



※受講方法を①②よりお選びください。  
※ご登録後すぐに、参加に関する確認  
メールが届きます。